

きたもとの未来地図

雑木蝶

討議資料

三宮ゆきお



発行者 三宮ゆきお後援会 北本市西高尾1-259
Tel.Fax 048-592-1376
Mail sangyu.y5111@gmail.com



コロナ禍のニューノーマルは、人が人としてのくらしを取り戻すチャンスです。これまでは、長い間、都会での成功を目指し、多くの人々が、東京、大阪、名古屋などの大都市で幸せ探しをしてきました。

ところが、コロナ禍で人の価値観が変わり始め、ふるさとや魅力的な地方で生き方を見つける時代になってきました。働く場所も、遊ぶ場所も、生きる場所も見直してよい、そんな「豊かさとは何か」が問われる時代です。

広報企画 日本一

2022(令和4年)



地方自治体等の広報活動の向上に寄与することを目的に、日本広報協会が各種広報作品について審査を行い、優秀団体を表彰するもので、1964(昭和39)年から実施されている**大変歴史のあるコンクール**です。

全国の47都道府県、1718市町村の中から選出されます。コンクール対象部門は以下の5部門です。(広報紙・ウェブサイト・広報写真・映像・広報企画)

都道府県等から推薦された広報作品を、部門ごとに審査し、特選・入選を決定します。入選団体には日本広報協会会長賞(表彰状)が、その中から特選となった団体には総務大臣賞(表彰状と楯)が贈られます。さらに、特選団体の中で最も優秀な団体には内閣総理大臣賞(表彰状と銀杯)が贈られます。

北本市が受賞した内閣総理大臣賞は「広報企画」部門であり、この部門での内閣総理大臣賞受賞は、長い全国広報コンクールの歴史の中で初めての事です。

北本市の広報は、令和3年以降、**印刷まではすべて職員の手作り**です。まち中で、広報の腕章をしている職員に出会ったら、ぜひお声がけ下さい。

これまでの主な入選

- 平成28年 全国広報コンクール2部門入選
- 令和元年 全国広報コンクール入選
- 令和4年 埼玉県広報コンクール特選
- 令和4年 全国広報コンクール特選

全国広報コンクール審査委員講評全文

広報目線でのシティプロモーションの好例。客観的な現状把握と分析を基にニーズと目標をしっかりと定め、市の政策に資する複合的な一大キャンペーンを展開した力量を高く評価する。

特に目標に対するプログラムのブレのなさ、仮設マーケットの出展者のSNS発信などの他者を巻き込む「自分事化」の手法、今後につなげていく姿勢が素晴らしい。また、多様な事業の組み合わせをメディアとして位置づけ、戦略性のある取り組みにより目的を実現できたことに大きな優位性がある。定量的な成果指標を用いることにより、行政広報に求められる説明責任を果たしていることにも注目できる。

「マーケット」という地域資源をうまく生かした発想も面白く「マーケットの学校」をステップにした展開手法も見事。市民の自発的な活動や、他のプロモーション、事業にも結び付けられており、今後、アフターコロナでどう広がっていくかにも注目したい。全国的な課題となっている「祭り」のこれからのあり方のヒントにもなるのではないかと。

全国広報コンクール 2022(令和4年)審査結果

- ・内閣総理大臣賞 (埼玉県 北本市)
- ・総務大臣賞 (長崎県他8県市町)
- ・読売新聞社賞 (静岡県 静岡市他9府県市町村)
- ・BSよしもと賞 (静岡県 静岡市他3県市町)

特選団体一覧

- ・広報誌 (長崎県)(愛媛県 西条市)(神奈川県 葉山町)
- ・ウェブサイト (兵庫県)(秋田県 横手市)(山形県 舟形町)
- ・広報写真 (茨城県 桜川市)(福島県 桑折町)
- ・映像 (鹿児島県 枕崎市)
- ・広報企画 (埼玉県 北本市)

ふるさと納税寄付額 埼玉県一位

令和3年度の寄付金額等のお知らせ

埼玉県内では2年連続一位です。寄附件数は前年度比、約1.57倍、寄附金額は前年度比約1.51倍となっています。(令和4.3)

寄附件数 **4,906件**

寄附金額 **9億745万1,461円**

この内、ガバメントクラウドファンディングで実現した4事例を紹介します。

- 1 長期保存可能な無添加クッキー開発 1,125,000円
- 2 北本デジタルアーカイブス 372,000円
- 3 北本団地商店街「まちの工作室」 2,023,000円
- 4 北本トマトを活かした「北本クラフトスピリッツ」 625,000円

私たちも連携しています！



埼玉県知事
大野元裕



鴻巣市長
並木正年



桶川市長
小野克典



上尾市長
畠山 稔



伊奈町長
大島 清



吉見町長
宮崎善雄

縄文の森を残すとはどういう事か

—この森(デーノタメ遺跡)は市域最大の雑木林であり、オオタカの森です—

縄文の森を守る理由! 「SDGs」の原点

日本の基層文化(文化の根底)は、縄文時代にあります。縄文時代の森の文化を特色づけるキーワードは、共生と循環、そして平等と平和です。この自然・人間循環型の文明を再認識することの中に、持続的発展(サステイナブル・ディベロップメント)の知恵が隠されています。

縄文人は、自然と共生し、資源を循環させ、平和な社会を1万年以上も持続させていました。縄文時代は、今注目されている「SDGs」の原点なのです。

大宮台地の最高地点にある北本市は、どこを掘っても遺跡に当たる「縄文銀座」のようなまちです。中でも、**関東最大級**と言われる遺跡が「**デーノタメ遺跡**」です。

また、1,500年も長く続いた遺跡(国特別史跡「三内丸山遺跡」と同格)です。昨年12月、3度目の文化庁訪問をしました。主任調査官から、「一刻も早い国指定の意見具申をお待ちしています」との力強い言葉をいただきました。

「**緑にかこまれた健康な文化都市**」北本は、**地盤の安定した災害に強いまち**です。まさに、この遺跡の存在がそれを証明しているのです。だからこそ、このまちのモデルとして、日本の宝として後世の人々に残さなければならないと思っています。

デーノタメ遺跡と久保特定土地 区画整理事業の共存を!

この遺跡は久保特定土地区画整理地内にあり、かつ遺跡の真ん中に、**50年以上前に計画された市道の都市計画道路「西仲通線」**が予定されています。市では、区画整理事業と遺跡との共存のため、学者の意見を聞き、西仲通線を西に迂回させる手法を取りました。地権者840名の約87%の皆様のご同意は、すでに得られています。

しかし、未だ議員の皆様の中には、「予定通り道路を通せ」という声があります。

道路を通せば、遺跡の破壊(国指定は困難)はもちろん、**オオタカ**もフクロウも生息できません。これからも、丁寧に説明しご理解をいただきたいと思っていますが、課題の解決は急務です。皆様の知恵をお貸しください。

一度壊された
遺跡は
二度と元には
戻りません。



林床を彩る代表的な花

デーノタメ遺跡は、
地盤の安定した
災害に強い
このまちの証です。



クルミ型土製品

デーノタメ遺跡 出土遺物



ヒスイ製大珠



漆塗土器

(「デーノタメ遺跡の世界」より引用 2018 北本市教育委員会)

大宮台地の最高地点に位置するまち



大宮台地の最高地点
32.9m



デーノタメの森で落葉掃き

国史跡として日本の宝へ

デーノタメ遺跡の集落の展開

